

## 本計画について

令和2年9月に策定した「上富良野町立病院改築基本構想」に基づき、新町立病院の運営計画、整備計画などを定めた「上富良野町立病院改築基本計画」を策定しました。

## 町立病院の基本理念・基本方針

- **基本理念**  
地域住民の皆様の健康を守るため、信頼される病院づくりを目指します
- **基本方針**
  - ・安全で良質な医療を提供するため、医療水準の向上に努めます
  - ・医療、保健、福祉と連携し、地域医療の充実に努めます
  - ・公共性を確保し、効率的で健全な病院運営に努めます

## 施設整備の基本的な考え方

### 患者中心の施設整備

- ユニバーサルデザインの採用や分かりやすい施設配置により、様々な利用者に対応できる施設整備
- 医療安全、感染管理やプライバシーの保護に配慮した安心・安全な医療環境を整備

### 災害に強い施設の整備

- 災害時を想定したライフラインの確保や、災害後も病院機能を維持できる施設を整備

### 経済性を考慮した施設整備

- 施設・設備のメンテナンスやライフサイクルコストなどを考慮した経済性の高い施設を整備
- 省エネルギーによる地球環境への配慮と病院運営上のエネルギーコストを適正化できる施設を整備

### 機能的で働きやすい施設整備

- 機能的な施設配置と効率的な業務動線を確保

### 変化に対応できる施設整備

- 医療制度の改革や医療技術の進歩、少子高齢化社会の医療ニーズなどの医療環境の変化に対応できる施設・設備を整備

## 新町立病院の概要

<b>病床数</b> ▶	一般病棟 : 30床 (現 44床) 介護医療院 : 40床 (現 28床)
<b>診療科</b> ▶	内科、外科、救急科 専門外来：肝臓内科 (月2回)、血液・腫瘍内科 (週1回)、循環器内科 (隔週1回) ※現町立病院の診療科と同様としますが、今後も診療科の新設に努力します
<b>建物規模</b> ▶	延床面積：約5,400㎡ 建物階数：3階建 構造種別：鉄筋コンクリート造
<b>その他</b> ▶	・予防接種会場を院内に併設 ・将来的に特別養護老人ホームを隣接

## 部門毎の基本方針

### 病棟部門

- ① 安全で良質な医療を提供するため、医療水準の向上に努めます。
- ② 患者が住み慣れた上富良野で過ごせるよう医療サービスの充実に努めます。
- ③ 医療安全や感染管理に配慮した療養環境、プライバシーの確保やアメニティの向上による快適性や利便性を高めた療養環境を提供します。
- ④ 多職種からなるチーム医療の実践や看護サービスの向上、地域包括ケアシステムの構築に努めます。

### 介護医療院

- ① 一人ひとりの人権を尊重し、医療・看護・介護と連携しながら、安心・快適・満足していただけるサービスの充実に努めます。
- ② 個人の状態に合わせた食事や排泄ケアの工夫、安全安楽な姿勢の確保などに取り組むとともに、身体拘束ゼロを目指します。
- ③ 専門職として常に研鑽に励み、介護サービスの資質の向上に努めます。
- ④ 地域や家族とのコミュニケーションを大切にし、信頼され必要とされる働き甲斐のある施設作りに努めます。

### 外来部門

- ① 地域の住民・医療機関等との連携を図り、地域医療を推進します。
- ② 安心・安全な医療を心掛け、信頼を得られる医療を目指します。
- ③ 患者のプライバシー保護ができる待合スペース・多目的室を確保します。
- ④ 救急医療の充実に努めます。

### 救急部門

- ① 町立病院で対応可能な一次救急の受け入れを基本とし、高度医療や専門性が高く速やかな対応が必要な場合には、旭川医大・旭川日赤・富良野協会病院などの2次及び3次救急病院へ搬送します。
- ② 一般外来との動線を区分しつつも、外来部門と隣接させ、放射部門や検査部門などとの連携も考慮した配置とするなど、機能性の高い救急部門を整備します。

### 手術・サプライセンター部門

- ① 手術に対する不安の緩和に努め、安心な医療サービスを提供します。
- ② 清潔な手術環境を整え、感染防止に努めます。
- ③ 院内で使用する器材の洗浄から組み立て、滅菌までを一元化し、各部門への安定的、かつ効率的な滅菌材料の供給体制を構築します。
- ④ 手術器材のセット化 (術式別・分野別など) を充実させ、業務の標準化を図ります。

### 薬剤部門

- ① 調剤や製剤、医薬品管理等の薬局内業務に関わらず、病棟での服薬指導業務や持参薬管理も積極的に行い「顔の見える薬剤師」として患者サービスの向上を図ります。
- ② 他職種と連携をとりながら、チーム医療の中で、薬剤師としての専門性を発揮し、常に安全で安心な薬物療法を提供します。
- ③ 薬剤業務のIT化を推進し、正確な調剤及び在庫管理により、適切な医薬品在庫数を維持し、デッドストックの減少等、経済的観点視野に入れた在庫管理業務を行います。

### 放射線部門

- ① 放射線業務の専門職として放射線量の最適化を目指すとともに、放射線被ばくを可能な限り少なくすることを目指します。
- ② 画像診断として、一般撮影、コンピュータ断層撮影 (CT)、TV透視装置、ポータブル撮影を行います。すべての画像情報をデジタル化し、放射線科で一元的に画像管理し、診断価値の高い医療画像を提供します。
- ③ 24時間365日の救急医療に対応し、行政・医療機関からの検査依頼にも迅速に対応します。

### 内視鏡部門

- ① 業務の効率化により、内視鏡検査室、洗浄室、器材保管室、受付、患者待合、前処置室、リカバリースペースを同一エリア内に設けます。
- ② 検査室、前処置室 (専用トイレ含む) 等は、遮音を考慮し、患者のプライバシーに配慮した計画とします。

### 検査部門

- ① データ管理を充実し、正確かつ迅速な検査結果を提供します。
- ② 患者のプライバシーに配慮し十分な説明と丁寧な対応に努めます。
- ③ 24時間365日の救急医療に対応できる体制を構築します。

### リハビリテーション部門

- ① 入院から在宅まで、地域に根差した信頼されるリハビリテーションを提供します。
- ② 介護医療院では、他部門との情報共有を図り、入所者本人の力を最大限活かした施設生活を過ごせるようリハビリテーションを提供します。
- ③ 訪問リハビリテーションでは、福祉機関や他部門と連携し、安心して在宅生活を継続して過ごすことができるよう支援します。

## 栄養部門

- 安全・安心な食事の提供を通じて、治療の一環を担い、患者と入所者一人ひとりの生きる力を支えます。
- 患者と入所者の身体状況・摂食嚥下の状況に配慮し、嗜好に配慮した内容で、最期まで口から食べることを支援するように努めます。
- 患者と入所者に対し、多職種と連携した栄養サポート活動により、栄養状態の改善に取り組み、併せて、栄養食事指導を通して、健康を自主管理できるように支援します。
- 厨房は、衛生面に配慮しドライシステムでの運用を行います。

## 事務部門

- 町立病院が理念・基本方針を実践した医療を提供できるよう、上富良野町の行政事務と病院経営事務を効率的かつ適正に行います。
- 職員の意識高揚や能力・専門的知識の向上に配慮しながら、病院施設・設備を充実させ、医療の質や患者サービス・療養環境の向上を図ります。
- 情報システムの活用や業務委託化により、事務部門の業務効率化を図ります。

## 施設の整備手法

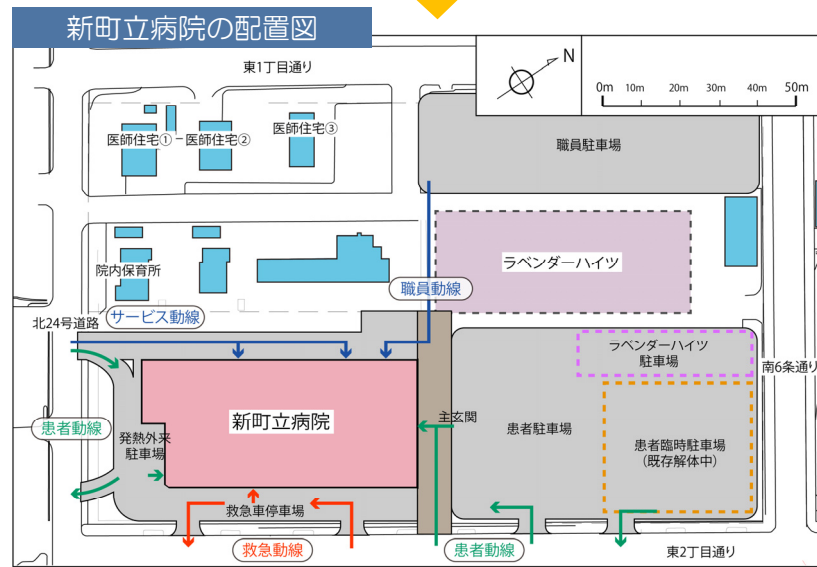
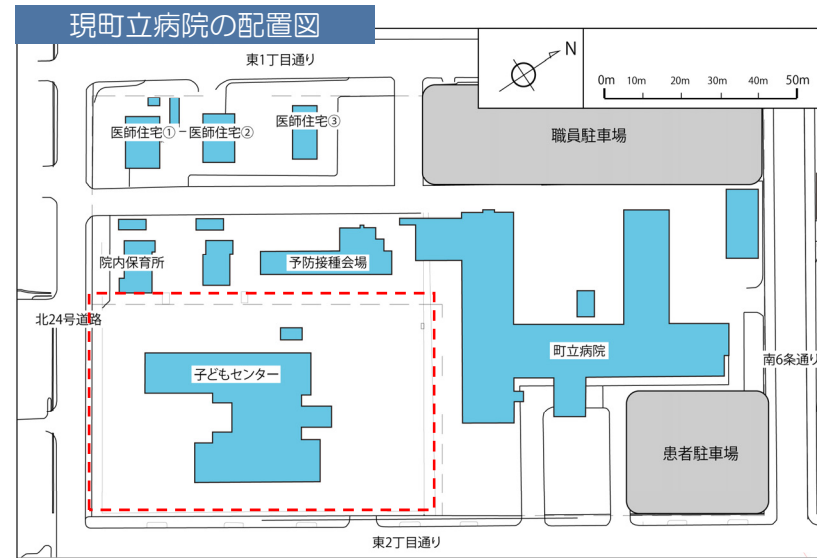
整備手法は、基本設計・実施設計・建設工事を分離発注する従来方式、設計と建設工事まで一括発注するDB方式、実施設計から施工者が参画するECI方式等、さまざまな方式を比較・検討し、新病院の整備に最適な整備手法を選定いたします。

また、技術的な中立性・公平性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・工事の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理等の各種マネジメントを行うコンストラクション・マネジメント方式の活用も検討します。

項目	基本計画	基本設計	実施設計	建設工事	供用
DB方式 (設計施工一括方式)	基本計画	選定 基本設計 (設計企業)	選定 実施設計・施工 (建設企業)	引渡	供用開始
ECI方式	基本計画	選定 基本設計・実施設計 (設計企業)	選定 技術協力 (建設企業)	交渉 施工 (建設企業)	引渡 供用開始
従来方式 (設計施工分離)	基本計画	選定 基本設計・実施設計 (設計企業)	選定 施工 (建設企業)	引渡	供用開始

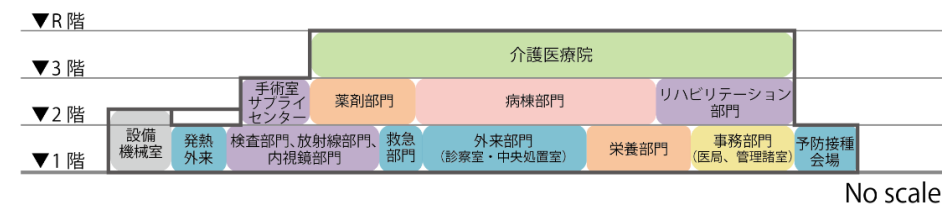
## 建物配置計画

新町立病院の計画は、利便性・代替施設の建設・工事期間中の周辺への影響・工事費、将来建設予定の特別養護老人ホーム(ラベンダーハイツ)の建設等、適正な建設候補地を検討し、現子どもセンターの敷地内に建設することを決定しました。



## 部門配置計画

新町立病院は、プライバシーに配慮した病室・療養室の面積確保、感染症対策の観点から一般病棟と介護医療院を別フロアとした3階建ての計画とします。



- 1階 ▶ 外来患者・救急患者の動線、外来部門と検査部門・事務部門の連携、厨房への食材の搬入等に考慮した計画
- 2階 ▶ 一般病棟、手術室・サブライセンター、院内処方を中心としている薬剤部門、感染症対策の観点からリハビリテーション部門を計画
- 3階 ▶ 療養室のプライバシーに配慮し、ゆとりのある食堂や機能訓練室を確保した介護医療院を計画

## 事業収支計画

類似規模の公立病院建設に係る実績額や官庁施設の積算要領等を参考に試算した概算事業費、財源は以下のとおりです。具体的な建設事業費については、基本設計策定以降の段階で改めて試算します。

■ 概算事業費 (単位：百万円)

事業費区分	内容	金額
建設工事	建設工事費、外構工事費、解体費、設計費、工事監理費等	3,700

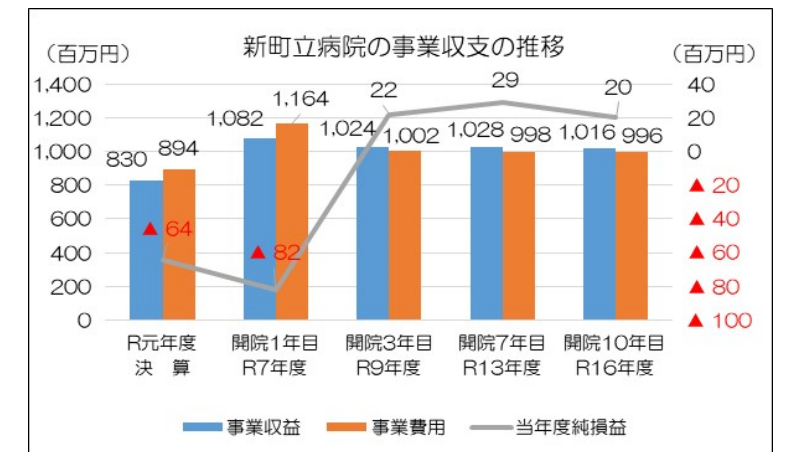
※備品費を除く

■ 財源 (単位：百万円)

事業費区分	内容	金額
地方債	建設工事等に対し、病院事業において借入れを行う地方債の額 公営企業債、過疎債の活用を検討*	3,300
補助金	建設工事に対し、交付される額	72
自己財源		328
合計		3,700

## 財政シミュレーション

新病院開設後の病院経営の見通しについて、一定の設定条件に基づき、開院後10年目までの試算を行いました。令和7年度の新病院開院時において、医業及び介護医療院ともに患者・入所者数増加を見込み、収益は増加しますが、現病院解体に伴う資産減耗費が発生により赤字となりますが、令和8年度以降は、黒字に転じる見込みです。



## 整備スケジュール

新町立病院の整備スケジュールは、以下を想定しています。

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	
R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
従来方式の場合				
基本構想 基本計画	基本設計	実施設計	建設工事・設計監理 令和7年3月竣工	
その他整備手法の場合				
基本構想 基本計画	基本設計 発注手続き	実施設計・建設工事・設計監理 令和7年3月竣工		

R7年6月(2025)開院